



日本中、いや世界中が一喜一憂!

日本中が沸きに沸いたこの1ヶ月、ブラジルの優勝、韓国へのベスト4、日本のベスト16と、思う存分楽しませてくれました。サッカーにはそんなに思い入れのない編集長ですが、実に感動の連続でした。先月号にも書いた通り『にわかナショナルリズム』『日本人』を実感した1ヶ月でした。(笑) 追伸、編集長の誕生日にお祝いのメッセージを頂いた方、この場を借りて「ありがとうございました。」(礼・感涙…)

### 「最近の若いもんは…」

「最近の若いもんは…」よく聞く言葉ですね。俗に大人が若者に対して使う、あまりいい意味の言葉ではないですよ〜?でも編集長はこの1ヶ月、この言葉に別の意味を感じました。それは何?きっかけはワールドカップです!二十代の若者達が全身全霊を傾けて、国のため、そして自分のためにボールを追いかけ1点を争う!素晴らしいかったですね!編集長は感動でサッパリ(鳥肌)が立ちました(ウツ〜涙が〜笑)それに輪をかけ素晴らしいかったのがサポーターと呼ばれる若者たち(中にはおじさんも?笑)競技場のスタンドで、選手のいない国立競技場で、はたまた街中で言いシャリに身を包み力の限り声援を贈る!選手もサポーターの力で頑張れたと言っていましたよ。その結果が日本のベスト16に結び付いたんじゃないんですかね。選手のみならず、サポーターの人たち、そしてトルシエ監督、本当に「感動を、夢をありがとう」です!(感涙・笑)それから世界に絶賛されたのが、どこの国だろうと分け隔てなく応援する姿勢、自分たちが活した場所を片付ける責任感!「やるじゃあねえか!最近の若いもん!」おじさんの編集長は頭が下がりました。(日本もまだまだ捨てたもんじゃねえなあ・喜)でも中には道頓堀に飛び込んだり、夜中騒ぎ捲ったり、マナーをわきまえない若者がいるのも事実ですよ。では、私たち大人はどうですか?若者や子どもたちに素晴らしい夢を見せてあげられていますか?下の写真はトルシエ監督に抱きかかえられている市川選手の涙です。一生懸命やった涙は人を感動させるものです。片や同じ日のスキムネオさんです。この人も涙を見せましたが嫌悪感(?)すら感じさせるものでした…。(怒)「最近の大人たちは…」そう言われないようにしなければ!子どもたちは大人を見ていますよ!何はともあれ感動と共に色々考えさせられた1ヶ月でした。そして最後に『ありがとう!最近の若いもんたちよ!』(いやあ、ついつい熱くなっちゃってどうもすみません…笑)

### 踊りはみんなで踊るから楽しい!?

先月号に続きダンスの祭2002のお話です。まずはお詫びと訂正から。先月号で9月28日(土)とご案内しましたが9月23日(月祝)に変更になりました。お間違いないようお願いいたします。さて、先日6月16日(日)に、よさこいソーランの1回目の練習をしました。日曜の夕方5時からという集まりずらい時間にも関わらず30人以上の方が参加してくれました。(嬉しかった〜・笑)初参加の方も非常に飲み込みが早く、本番は凄いななるぞ〜という予感?(笑)編集長は?というと、年のせいか全く付いていきず早々にピットイン・リタイア!(悲)ダンスの祭は皆さんと創るお祭りです!いっしょに踊りましょうよ!次の練習は14日です。詳しくは街中に張ってあるポスターをご覧ください。待ってますよ〜!(笑)

市川選手  
君の涙は美しい!  
ありがとう!  
トルシエ!

日本中を  
幻滅させた  
大人の代表?

